

機関名	京都大学大学院医学研究科
役職	消化器内科学 教授
氏名	妹尾 浩
論文タイトル	Inter-institutional variation of colorectal polyp morphology: Analysis of the Japan Endoscopy Database
目的	別途計画中の大腸ポリープ肉眼型診断に対する教育介入効果の前向き検討(大腸内視鏡検査医にポリープの肉眼型診断についての教育を行うことで肉眼型診断の正診率の向上が可能か、また診断医間の回答一致率が向上するかを検討する予定。)を実施するにあたり、現在の日本における肉眼型診断の実際について把握するために日本消化器内視鏡学会の Japan Endoscopy Database を利用して各施設のポリープの肉眼型診断を解析し、施設毎での肉眼型の偏りの有無また偏りが大きな肉眼型(正確な診断が困難と予想される肉眼型)について検討する。

研究依頼受理 2020 年 8 月 26 日、研究終了

機関名	秋田大学
役職	消化器内科・教授
氏名	飯島克則
論文タイトル	本邦における新型コロナ禍の消化器内視鏡診療に及ぼした影響-JED project データを用いた全国調査-
目的	JED project の全国集計データを用いて、本邦における新型コロナ禍が消化器内視鏡診療に及ぼした影響について検討する。

研究依頼受理 2023 年 6 月 7 日、研究継続中

機関名	埼玉医科大学病院
役職	消化管内科 教授、診療部長
氏名	今枝 博之
論文タイトル	Japan Endoscopy Database Project「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築」のデータベースを用いた好酸球性消化管疾患に対する内視鏡検査件数の推移の検討(仮)
目的	好酸球性消化管疾患は好酸球性食道炎と好酸球性胃腸炎からなり、わが国でも近年報告が増加している。2013 年に厚生労働省研究班により好酸球性食道炎と好酸球性胃腸炎の全国調査が報告されているが、その後の全国規模での好酸球性消化管疾患の推移は明らかとはなっていない。今回、日本消化器内視鏡学会主導の Japan Endoscopy Database Project 「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築」におけるデータベースを用いて、好酸球性消化管疾患における内視鏡件数を抽出することにより、我が国における本疾患の年次推移を後ろ向きに比較検討する。

研究依頼受理 2023 年 10 月 17 日、研究継続中

機関名	大阪公立大学
役職	消化器内科学 教授
氏名	藤原 靖弘
論文タイトル	Japan Endoscopy Database Project「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築」のデータベースを用いた酸関連疾患の疫学調査
目的	Japan Endoscopy Database Project「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築」のデータベースを用いて、酸関連疾患(逆流性食道炎、バレット食道、食道癌、食道裂孔ヘルニア)やその合併症の有病率とその年次推移、リスク因子に関する疫学調査を行う。

研究依頼受理 2024 年 7 月 15 日、研究継続中

機関名	京都大学
役職	健康情報学・腫瘍内科 助教
氏名	西川 佳孝
論文タイトル	Institutional and Individual Variations of Endoscopic Practices in Japan: An Observational Study from the Perspective of Public Health Using the Japan Endoscopy Database
目的	日本の内視鏡診療の実態を社会健康医学・ヘルスサービスリサーチの観点から解析する。消化器疾患に対する内視鏡診断と治療について、医療提供者(個人レベル・病院レベル)属性ごとの診療実態の解析をおこなう。また、新型コロナウイルス感染症流行下の診療実態について全国規模で明らかにする。

研究依頼受理 2024 年:7 月 31 日、研究継続中